

2023（令和5）年度予算について

学 校 法 人 桃 山 学 院
理 事 長 出 田 善 蔵

2023（令和5）年度学校法人桃山学院の予算は、予算会議の議を経て、2023年3月28日（火）開催の評議員会後の理事会で承認され成立いたしましたので、ここに予算の概要と予算書類の公開を以下のとおり行います。

■ 資金収支予算概要について

資金収支予算書は、予算編成を通して当該年度の諸活動に対応するすべての資金収入と資金支出の内容を明らかにするとともに、支払資金の顛末も明らかにする書類です。

2022年度補正後予算額との比較で示せば次表のとおりです。

資金収支予算比較総括表

（単位：百万円）

項 目	2023年度予算額	2022年度補正後予算額	増 減
前年度繰越支払資金	10,931	9,942	989
資 金 収 入	13,452	12,402	1,050
資 金 支 出	13,054	11,412	1,641
翌年度繰越支払資金	11,330	10,931	398

<注> 端数処理（百万円未満を切り捨て）の関係で増減額が合致しないことがあります。

以上のように資金収入につきましては、合計で10億5,000万円増の134億5,200万円を計上しました。これは、2021年度より認められた桃山学院大学および桃山学院教育大学の入学定員増により学生生徒等納付金収入が1億5,364万円増加したこと、和泉キャンパス新校舎建設および既存施設リノベーションの資金対応として、減価償却引当特定資産を10億円取り崩したことが主な要因としてあげられます。

一方資金支出では、合計で16億4,100万円増の130億5,400万円を計上しました。これは、既述の和泉キャンパス新校舎建設および既存施設リノベーションの事業費として、2023年度に15億724万円の予算を計上したこと、和泉キャンパス中長期保全改修事業として2億1,582万円の修繕工事を計上したことが主な要因としてあげられます。

その結果、資金収入が資金支出を上回り、翌年度繰越支払資金は3億9,800万円増の113億3,000万円を見込んでいます。

■ 事業活動収支予算概要について

事業活動収支予算書は、予算編成を通して当該年度の事業活動収入と事業活動支出の内容を明らかにし、当該年度に基本金に組み入れる額を控除した諸活動に対応する全ての事業活動収入と事業活動支出の均衡状態（経営状態）を表す書類です。

2022年度補正後予算額との比較で示せば次表のとおりです。

事業活動収支予算比較総括表

(単位：百万円)

項 目	2023年度予算額	2022年度補正後予算額	増 減
事業活動収入 ①	12,442	12,245	196
事業活動支出 ②	12,677	12,303	374
基本金組入前当年度収支差額③(①-②)	△ 234	△ 57	△ 177
基本金組入額 ④	△ 1,434	△ 52	△ 1,382
当年度収支差額 ⑤ (③ + ④)	△ 1,668	△ 109	△ 1,559
前年度繰越収支差額 ⑥	△ 4,664	△ 4,612	△ 51
基本金取崩額 ⑦	1	57	△ 56
翌年度繰越収支差額⑧(⑤+⑥+⑦)	△ 6,332	△ 4,664	△ 1,667

<注> 端数処理（百万円未満を切り捨て）の関係で増減額が合致しないことがあります。

以上のように事業活動収入については、1億9,600万円増の124億4,200万円を計上しました。これは資金収支と同様、2021年度より認められた桃山学院大学および桃山学院教育大学の入学定員増を主な要因とする1億5,364万円の学生生徒等納付金の増加が主な要因としてあげられます。

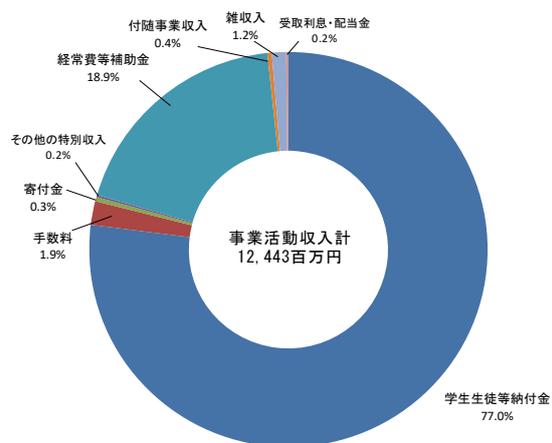
一方、事業活動支出については、3億7,400万円増の126億7,700万円を計上しました。これは、和泉キャンパス中長期保全改修費として1億9,058万円を計上したこと、和泉キャンパス新校舎建設および既存施設リノベーションの費用として6,797万円を計上したこと、既存施設のリノベーションに伴い7,600万円の図書除却を資産処分差額に計上したことが主な要因としてあげられます。

その結果、収入増を上回る支出増となり、基本金組入前当年度収支差額では、2億3,400万円の支出超過となりました。

なお、基本金組入額は14億3,400万円を計上しました。その主な内容につきましては、和泉キャンパスにおける新校舎建設による組入となります。

これらの要因から2023年度予算では、当年度収支差額は△16億6,800万円となり、翌年度繰越収支差額は△63億3,200万円となる見込みです。

事業活動収入の部合計 124 億 4,282 万円



事業活動支出の部合計 126 億 7,750 万円

